

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	道水路管理課担当課長 原田 裕史
都整-08 下水道使用料等賦課徴収事業(特別会計)	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課 道水路管理課 関連課 下水道河川課
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川
	施策の方針	下水道の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	公共下水道の使用料、受益者負担金、受益者分担金及び占用料を適正に徴収するため。
効果	徴収率の向上を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

下水道占用料の賦課及び徴収を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	172,491人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	72,876世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運 営 資 源 状 況	決算値(千円)	4	当初予算(千円)	4	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	3	その他	4	
	一般財源	1	一般財源	0	
	人員配置数	0.5	人員配置数	0.5	
人 件 費(千円)	3,956	3,947	人 件 費(千円)	3,952	
事 業 経 費 運 営	総事業費(千円)	3,960	総事業費(千円)	3,956	
	市民1人当りの経費(円)	22	市民1人当りの経費(円)	23	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 引き続き、占用賦課徴収事務の消耗品を購入するため、現状維持とする。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	未納者の所在を追跡調査し、文書通知等による督促を行い、滞納の縮減を図る。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	納期までに占用料を納付しない占用户への適切な対応を図る。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	電話や文書通知による督促を行った。	☐ 解決 ☐ 一部解決 ☒ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	占用料の支払い義務者の転居時期、転居先等の状況把握が難しい。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									
------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位						指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								

指標の内容	単位						指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								

指標の内容	単位						指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方									
-------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---